

# 社長メッセージ



販路を拡大し  
ものづくり力を大きく  
進化させることで  
飛躍への備えを  
進めてまいります。

平素は株主・投資家の皆様、お取引先、地域社会の方々をはじめとするステークホルダーの皆様にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年3月期の業績は、連結売上高2,307億円(前期比4.0%減)、営業利益123億円(前期比47.0%減)となりました。また、海外子会社の構造改革に伴う事業構造改善費用などを計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は54億円(前期比63.2%減)となりました。

しかしながら、将来的に安定需要が見込める市場として自動車や産業機器向けの販路開拓に注力し、高信頼性商品の売上を着実に積み上げています。また、スマートフォン向けでは、通信方式の変化や多バンド化などの高性能化により、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)の売上を拡大させることができました。円高が進行したことにより5期連続の

増収増益とはなりませんでしたが、電子部品の成長トレンドに変化はありません。

足元の事業環境も、スマートフォンの次世代モデルに対する期待の高まりや、IoT(モノのインターネット)の進展を背景に、競争優位性の高い最先端商品の需要は旺盛です。自動車や産業機器向け商品もさらなる伸長が見込まれます。

こうしたなか、生産能力増強に加え、ものづくり力を大きく進化させることで生産効率の一層の向上を図り、飛躍への備えを進めてまいります。

ステークホルダーの皆様には、変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 登坂正一